

P2A ●寸法／重量：W430×H60×D300mm／10kg ●備考：バランス入出力HOT=2番ピン  
 H2A ●出力：160W+160W(8Ω) ●寸法／重量：W430×H120×D370mm／25kg ●備考：バランス入出力HOT=2番ピン ●問合せ先：株エレクトリ ☎03(3530)6276

ヘーゲル  
**CDP2A** (写真左上)  
 ¥300,000

**P2A** (写真左下)  
 ¥300,000

**H2A** (写真右)  
 ¥500,000



クリーン&クリアー。クールでありながら力感を備える  
 ノルウェーのブランド、ヘーゲルからCDプレーヤー、プリアンプ、パワーアンプの3機種が登場

傅 信 幸

アルミニウムの梨地仕上げが微妙な光を反射する美しき、無駄な機能がないさっぱりとした外観から受ける印象と、実際に出てくる音がおなじであるヘーゲルの製品は、北欧のノルウェーから輸入されている。

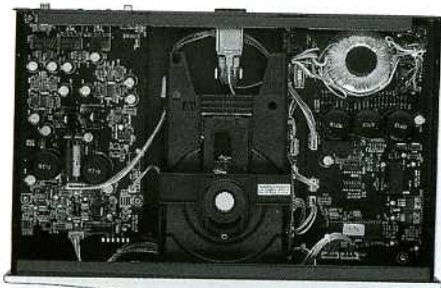
ブランド名はゲオルク・ヘーゲルに由来しており、このドイツの哲学者が前向きな姿勢を説いていることに心酔したエレクトロニクスのエンジニアがオーディオのブランドを起したのだという。昨年の東京インターナショナルオーディオショウに來日したその技術者にいろいろと尋ねたが、彼の設計理念は、ネガティブ・フィード・バック(NFB)ではなく、歪みだけを打ち消すフィード・フォワード方式であり、静的特性を追求するのではなく動的特性を重視して、音楽的に能動的なオーディオ回路製品を設計する……ことであるそうだ。

CDP2AはCD専用プレーヤー。それぞれ三方向へ押すことで最少限必要な機能を満たすふたつの丸いボタンしかフロントパネルにはない。もちろん多機能リモコンが付属し、それはアルミニウム棒から削り出された立派なりモコンであり、プリアンプにも付属する。CDP2Aの内蔵D/Aコンバーター部はアップサンプリングして19.2kHz/24ビットの信号処理をしているという。

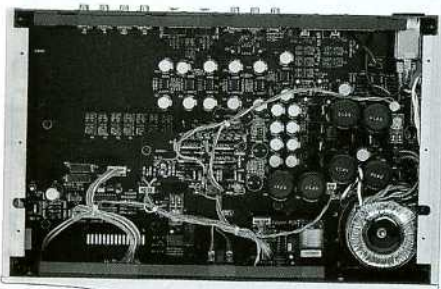
プリアンプのP2Aは、独自のポリウム回路を搭載している。音量を調整するというのが実は音質的に弊害があることに関して腐心するオーディオメーカーは少なくなく、単純なポリウム部品を使わないメーカーが増えているが、ヘーゲルもまた同様であり、メカニカルのポリウム部品と

話題の  
新製品を  
聴く

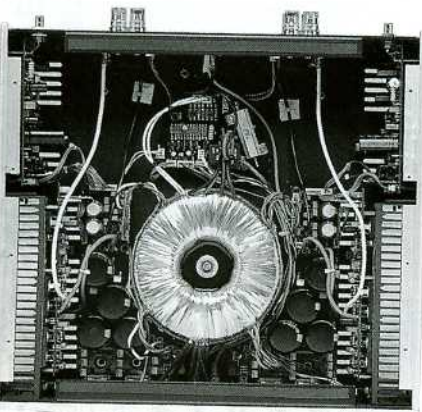
CDP2A ●アナログ出力:アンバランス1系統(RCA)、バランス1系統(XLR) ●デジタル出力:同軸1系統(RCA) ●寸法/重量:W430×H80×D290mm/10kg ●備考:バランス出力HOT=2番ピン



CDプレーヤーCDP2Aの内部。ドライブメカを中心に、右側に電源トランスと電源回路基板、左側にアナログ回路基板を配置。アナログ回路基板は左右対称のパーツレイアウトが施されている。



プリアンプP2Aの内部。フロントパネル右側にトイダルコア電源トランスを配置。すべての回路はワンボード上にレイアウトされている。



中央に大型のトイダルコアトランスを配した、パワーアンプH2Aの内部。出力段の回路はフロントパネル側に配置され、ヒートシンクは本体内部に格納されている。



背伸びしてでも手に入れたくなる、  
シンプルで洒落た3点セット

電子回路とを併用した独自の音量調整機構を搭載している。パワーアンプのH2Aは160W+160W(8Ω)出力。同社にはH4Aという大型パワーアンプがあり、スピーカーをねじ伏せるような駆動力の高さでステレオサウンドをランプリを受賞した名機の弟が本機だ。2Ω負荷時400W+400Wを送り出し、電流供給能力はピークで130A以上であるというから、高さ12センチの本機のサイズからはしようしよう想像し難いマッチョなパワーアンプである。ヘーゲルの特許である歪み補正回路を搭載している。

さて、3機種を揃えると計110万円の高額だが背伸びして手に入れたくなる、シンプルにして洒落た3点セットである。どのような棚に載せてあげようか、そもそもスピーカーは何を選ぼうかと想像を膨らまさせてくれる魅力が、このヘーゲルの3機種に満ちている。サウンドは、贅肉がなく

さっぱりとして、冴え冴えとしてクール、しかしモリモリとした力感があって決して痩せた音ではない。低歪みでクリーン&クリアー。ヘーゲルはあのECMLEレーベルのスタジオに録音関連機器を納入しているそうだが、たしかに、ECMLEレーベルのクリスタルクリアーなサウンドと、ヘーゲルの「2A」ラインナップのサウンドとは、爽快感のあることで共通していると納得した。